



お問い合わせ先

大里農林振興センター
農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210
FAX. 048-526-2494

後継者のいない方、 第三者経営継承を考へませんか？

熊谷市の5年後、10年後の農業について想像してみても下さい。近年、大規模化が進む一方で、担い手不足や後継者不足が懸念されています。特に、熊谷市では米麦を中心に栽培する大規模主穀作経営が多く存在します。一つの経営体が農業をやめてしまっただけで、地域農業の衰退につながってしまう恐れがあります。

そのような中で、県内においても親族以外の第三者へ農業経営を移譲する、「第三者経営継承」の事例が見られるようになってきました。

熊谷市においても、県内に先駆けて第三者経営継承が行われています。経営継承の一つの形として、「第三者経営継承」を考へてみませんか。

第三者経営継承の特徴

新たに農業を始める人から見た場

表 新規参入者から見た第三者経営継承の特徴

		第三者継承	独立就農
経営開始時の規模		大	小
専業経営になるまでにかかる時間		短～中	中～長
経営開始時に最低限必要となる能力		大	小
有形資産 (農地、施設、機械、家畜、果樹等)		必要な農地・施設等を 就農時にまとめて取得	資金や能力にあわせて 少しずつ取得していく
取得のための費用がかかる			
無形資産	技術・ノウハウ・ 信用	移譲者を通じて具体的な ノウハウを獲得	自分で獲得
	販路	移譲者の販路を継承可能	自分で開拓
就農地の探索、地域への参入など		条件の合う移譲者を 探し出すのが大変 移譲者と信頼関係を築く 必要がある 譲渡価格などの交渉が必要	就農地の探索、地主等 との交渉が必要
地域社会への参入が必要			

引用 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター
「農業経営の第三者への継承 一進め方とポイント」

合に、第三者経営継承と独立就農を比較した際の特徴は左記の表のようになります。第三者経営継承を選択することで、農地や農業機械等の有形資産がまとめて手に入ることで、技術や販路等の無形資産を引き継ぐことにより、早期に安定した経営が可能となります。

どのように取り組めば良いか？

第三者経営継承の手順は左記の図のとおりです。これまでの事例では、数年間の研修（移行）期間を経て経営継承に至っています。マッチング

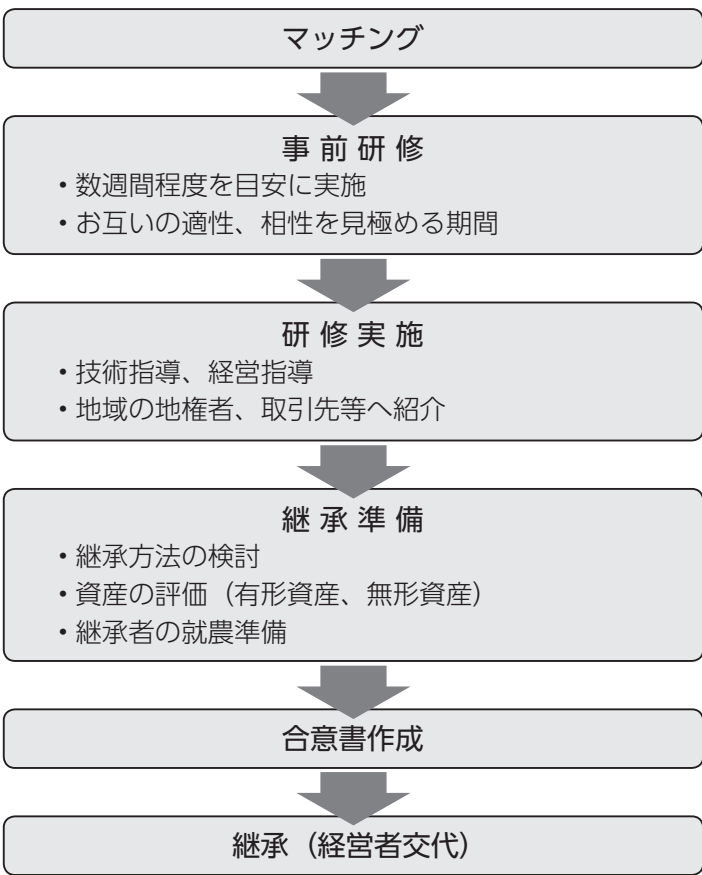


図 第三者経営継承の手順

また、経営を移譲する人から見た場合、農業機械や技術、ノウハウを含む資産を譲り渡し、自らが行ってきた事業を途切れさせることなく、次の世代へ受け渡すことができます。さらに地域農業から見た場合、円滑な農地の継承により、遊休農地化が防がれ、地域農業の維持につながります。

や研修期間に要する期間を想定すると、できるだけ早くに準備を進める必要があります。第三者経営継承では移譲者と継承者の十分な話し合いが必要です。当事者同士で話し合いが進みにくい場合は大里農林振興センター等の機関を入れて話し合うこともお勧めします。大里農林振興センターでは、通常の農業経営の相談に加え、税理士などの、専門家の力を借りた支援に繋げる活動も行っています。第三者経営継承に興味がある方は、まずは大里農林振興センターまでご相談下さい。（大里農林振興センター農業支援部）



★今月のあなたの運勢★ 3月 // 牡牛座 4/20～5/20

☆モナ・カサンドラ

【全体運】 後回しにしてきたことに取りかかるのに良い時期です。用事を先に終わらせた方が自分の時間も楽しめます
【健康運】 食べた分、体を動かしてカロリーを消費して 【幸運の食べ物】 タマネギ